

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表 2024年1月25日

事業所名 モンキー'Sスクール

回収数 21

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19	2			活動内容や活動班の人数に応じて、部屋割りをを行い活動させていたしています。5~6名に対して1グループにし活動している。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	20			配置数については、詳細を知らない。	規定では配置人数10名に対して2名の職員が必要であり、当事業所では10名に対して4名の配置を行っている。スタッフ一同専門性向上のため、月1回の勉強会や研修会を行っています。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14	7			
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	21				
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	20	1			支援内容は固定化しないように、意見箱を設置し利用児様の要望も踏まえた上で、幅広い支援内容を思索しています。
	⑥	放課後等児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	9	10	1	分からない。	地域の幼稚園との交流会を開催し、催しイベントも年2回開催いたしました。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21				利用契約の際に説明を行い、随時質問などにも対応させていただいております。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共	21				
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21				
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12	8		分からない。	ご家族様も参加できる催しイベントやお楽しみ会などを開催し、保護者様も交流を図る場を目的としたイベントを開催いたしました。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速に対応しているか	20			そう言った、状況になった事がない、又は、周知はないので実際のところは分からない。ただ、苦情があった場合に言える環境は整っていると思う。	相談・苦情対応マニュアルを作成し、研修をもとに職員間で周知を行い、迅速な対応を図ることができるように体制を整えています。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21				
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	21				
	⑭	個人情報に十分注意しているか	20	1			
常時等の対	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	21				
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	21				
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	18	2		楽しいと思っている時もあればその時の気分によって、あまり行きたくない時もある様。	
	⑱	事業所の支援に満足しているか	20	1			

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援・放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表 2024年1月25日

回収数 17

事業所名 モンキー'SスクールⅡ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	2		実際の活動を見ていないので。	活動内容や活動班の人数に応じて、部屋割りをを行い活動させていただいています。5~6名に対して1グループにし活動している。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	14	3			規定では配置人数10名に対して2名の職員が必要であり、当事業所では10名に対して4名の配置を行っている。スタッフ一同専門性向上のため、月1回の勉強会や研修会を行っています。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	7			事業所入り口にスロープが有り事業所内では段差をなくしバリアフリー化を図っている。
	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	16	1			
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	15	2			支援内容は固定化しないように、意見箱を設置し利用児様の要望も踏まえた上で、幅広い支援内容を思索しています。
	⑥	放課後等児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	9	3	ちょっとわからない。	地域の幼稚園との交流会を開催し、催しイベントも年2回開催いたしました。
適切な支援の提供	⑦	支援の内容、利用者負担等にちうて丁寧な説明がなされたか	16	1			利用契約の際に説明を行い、随時質問などにも対応させていただいております。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	17				
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17				
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12	4	1	参加していない事が多いのでわかりません。	ご家族様も参加できる催しイベントやお楽しみ会などを開催し、保護者様も交流を図る場を目的としたイベントを開催いたしました。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	3			相談・苦情対応マニュアルを作成し、研修をもとに職員間で周知を行い、迅速な対応を図ることができるように体制を整えています。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17				
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	16	1			
	⑭	個人情報に十分注意しているか	17				
非常時の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	17				
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17				
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	14	2	1		
	⑱	事業所の支援に満足しているか	16	1			

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援・放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年1月25日

事業所名 モンキー'Sスクール

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動をする上で、十分な環境かと思えます。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			規定されている人数より、多く配置されている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			事業所入り口から活動部屋にかけて段差をなくし、バリアフリー化を図っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○	○	○	・振り返りとしての話し合いが多く、利用児様の情報共有の機会が多いと思う。 ・日々の活動内容やイベントに対してミーティングを行い、終了後は振り返りや改善点などの話し合いを行い、次につなげるよう実施している。 ・些細なことでも意見交換しながら、改善にも務めている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○	○		現在第三者委員会を設置していない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			年12回の研修を実施し、また全スタッフの知識向上に努めている。 その中で議題が上がった際は、その都度話し合いを行い職員間で共有するとともに、支援での共有知識を図っています。
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			職員間でも利用児様について話し合い、計画を立てながら支援を行っている。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			内容をスタッフ間で共有しながら、またその日の子どもたちの様子を把握し、プログラムを考えるようにしている。また、その日の利用時様の様子や状況に応じてメニューを変更し臨機応変な対応を図っています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・活動の内容にバリエーションを持ち楽しんでいるかを考えながら行っている。 ・独自のプログラムを使って、毎日活動内容が固定化されない様に、日替わりで実施するようにしている。 子ども達が楽しみながら取り組み、成長ややりたい気持ちを伸ばして行けるよう考えている。
	16	(放課後等デイサービスのみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・長期については普段出来ない取り組みを考え取り入れている。 ・休日などは外出や社会参加・余暇活動を通して経験を重ねるねらいを目的とし、活動内容を設定している。

関係機関や保護者との連携	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			利用児様が来所される前に、毎日話し合いを行い送迎や支援内容に不備がないかを確認し、共通認識を持つことを徹底しています。
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○	○		・全スタッフが共有できるツールを使い、1日の活動様子で気になる点を全従業員が記載し共有し、翌日に話し合いを行なっています。 ・些細なことでも気になることは必ず上司に報告し、話し合いや相談の時間をもつようになっている。
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・その日の報告を共有ツールにて記録を記入している。 ・支援に対しての気づきの点なども記載するようになっている。
	21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	22	(放課後等デイサービスのみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○			
	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が参加するようにしている。
	24	(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	25	(放課後等デイサービスのみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・学校や親御様に連絡を取り時間変更などが無いかを確認している。 ・学校から連絡いただき事業所でも気をつけその後の対応なども親御様にお伝えしている。
	26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	27	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○	○	○	現在、医療的ケアが必要な利用児さんは利用されていない
	28	(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	30	(放課後等デイサービスのみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○	○	○	過去に対象となる利用児様が在籍していなかったが、現在は対象となる利用児様に対して、こども園や幼稚園の職員と密な連携を図り情報共有を行っている。
31	(放課後等デイサービスのみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○	○		相談支援員との連携が多く、セルフプランである利用児様に対しては引き継ぎシートの活用も検討したいと思う	
32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	○		外部研修への機会が少ない為、今後は外部研修への参加も検討していきたい	

	33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	○	○	・イベントや活動内で、地域の子供たちと関わる機会を設けている。 ・障害のないお子様や地域の方と活動する機会はあるが、児童クラブや児童館との交流は回っていない。
	34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	○	子ども部会が開催される機会には参加している
	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		帰りの送迎の際親御様とお話をし、気になる点がある場合は児発管に報告を行い、全スタッフに情報共有するようにしている。 それ以外でも、親御様から相談があった時はスタッフ間でも共有し、利用児様に合った支援を行えるようにしている。
	36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	○		年に数回のペアレントトレーニングを実施している。 育児にいかせる内容を動画や文面で発信している。
保護者への説明責任等	37	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約の際に細かく説明を行っている。 また、随時質問等があれば迅速に対応を行っている。
	38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	○		
	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者様から質問があった際には、その場で問題解決に取り組み対応出来ない場合は、事業所に持ち帰り迅速に対応を心がけている。
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	○	年に数回、親御様が集まれる機会を設け、交流できる場を作っている。
	41	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		
	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報については、最善の注意を払っている。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		絵カードなどのツールを用いてコミュニケーションをとっている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	○	地域の方々が参加できるイベントを実施している。
非常時等の対応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・感染対策など、その都度書面にて親御様に周知をしている ・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルをHPにて開示している。
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年2回以上、防災計画に基づいた避難訓練を行っている。また実施した内容を親御様に周知している。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	○	○	現在アレルギー反応を起こす児童は不在。
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・ヒヤリハットについて、なぜ起こったかや事後対応も行っている。 ・ヒヤリハット視点があった場合は、ヒヤリハット集を作成し会議を行なっている。
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		年に一度、虐待研修を行い、自分達の支援で虐待に相応しないかを話し合っている。
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		必要な場合、スタッフと話し合いを実施した上で親御様に説明を行っている。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年1月 25日

事業所名 モンキー'SスクールⅡ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動スペースやその他を過ごす為に必要なスペースの確保を行なっている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			人員配置を規定より多く配置し、より手厚い支援を行うことができている
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			階段に手すり、玄関にスロープが設置されている スロープや手すりなどの設置を行なっている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	○	○		全職員が日々の目標を設定し、自己評価・振り返りを行っている
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートを実施し、親御様の意見を踏まえ今後の支援や事業所での改善を心がけている
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			毎年公表している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	○	第三者委員会は設置していないが、今後は第三者評価を受ける機会も検討したいと思う
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的な社内研修を行い、支援での共通理解を持てる様に取り組んでいる
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			親御様の意向や利用児様の意向を踏まえた上で、計画書の作成を行なっている
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			事前にプログラムの進行や内容などを共有し、その日の活動プログラムの目的を共有している
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			毎月予定表を作成しプログラムの中でマンネリ化しない様プログラムへの変化をつけ、利用児様が楽しさを感じ参加できるよう工夫を行なっている
	16	(放課後等デイサービスのみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			休日や長期休暇には、外出での社会参加や多彩な経験を積むことができる様なプログラムを取り入れている
	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			その日の利用児様の状況にも合わせて、活動内容への配慮を行っている
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日、その日の担当や支援について共有する時間を取っている
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・共有簿というツールを用いて次の日に話し合いを行なっている ・その日支援を行なった各職員が共有簿への記入を行い、全職員が毎日目を通しサインをする事で、支援内容や連絡事項などの共有を行なっている
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			共有簿で管理者が検証するとともに、改善点などは職員間で話し合う場も設けている
	21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			最低半年に一回のモニタリングを行なっているが、利用児様の状況に合わせてモニタリングが必要な際はモニタリングの時期を調整し計画を更新している
	22	(放課後等デイサービスのみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○			様々な目的を踏まえて基本活動での支援を行うよう心がけている

関係機関や保護者との連携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	24	(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		○		該当する利用児様が在籍していない	
	25	(放課後等デイサービスののみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・下校時間変更などは親御様や学校と連絡を取り合っている ・学校にもよるが、下校時間などの情報共有を行い迅速に対応できる体制を整えている。情報共有が難しい場合には親御様との情報共有を行なっている	
	26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○		該当する利用児様が在籍していない	
	27	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○	○	該当する利用児様が在籍していない	
	28	(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		該当する利用児様が在籍していない	
	29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		該当する利用児様が在籍していない	
	30	(放課後等デイサービスののみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○	○	○	該当する利用児様が在籍していない	
	31	(放課後等デイサービスののみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○	○		相談支援員との連携が多く、セルフプランである利用児様に対しては引き継ぎシートの活用も検討したいと思う	
	32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	○	外部研修への機会が少ない為、今後は外部研修への参加も検討していきたい	
	33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	○	○		児童クラブなどの交流先がなく活動をともにする機会はないが、地域の子ども達と一緒にプログラムに取り組む機会は設けている	
	34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	○		子ども部会が開催される機会には参加している	
	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時の活動報告や利用児様の課題点や親御様の悩み事など、話し合う機会を多く持っている。帰りの送迎で学校での様子、活動の様子をお伝えしご自宅での様子もお伺いしている	
	36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			親御様向けにペアレントトレーニングを行なっている	
	保護者への説明責任等	37	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明を行うとともに、その他の場面でも質問がある際は丁寧に説明を行うよう心がけている
		38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	○			
39		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			送迎スタッフでお答えできない場合は事業所に持ち帰り上のものに相談し、回答させてもらっている 親御様からの相談に対して助言を行うとともに、職員間でも情報共有を行い今後の支援に繋げている	
40		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者会は開催できなかったが、利用児様と保護者が参加できる機会を設け、保護者同士の関わりを持てる機会を作っている	
41		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			親御様の意見を聞き入れた上で、事業所内で対応できる事については迅速に対応する様に努めている	
42		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月の予定表に活動内容や概要を記載している	

	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			個人情報の取り扱いには、充分な注意を払い職員間でも共通理解を取れるように周知している
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			絵カードやベクスを使うなどしている。様々な手段を試行錯誤し、意思疎通を図れる様配慮している
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	○		夏祭りやハロウィン祭りなどを主催し、地域住民の方々も参加してもらえる様宣伝を行なっている
非常時等の対応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			常に見える場所にマニュアルを掲示するとともに、定期的な訓練時に再度確認する機会を作っている
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			最低年2回の訓練を行い、その状況に合わせて災害や避難対応などの学びを深める機会を作っている 定期的に訓練内容を変え実施している
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	○	○	○	該当する利用児様が在籍していない
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			日々の共有簿でヒヤリハット視点を共有するとともに、研修を行い支援の中で繰り返さない様に徹底している
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会を設置し、定期的な全体研修を開催し虐待防止への知識向上と支援の中での気をつける点などを話し合っている
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			やむおえず身体拘束が必要な利用児様に対しては、親御様に説明を行い計画書への記載も行う上で同意を得ている。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。